



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場会社名 株式会社マルイチ産商

上場取引所 名

コード番号 8228 URL <http://www.maruichi.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 井崎 俊彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 企画・管理部門統括 (氏名) 白井 幸男

TEL 026-285-4101

四半期報告書提出予定日 平成24年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	118,698	1.4	648	79.5	972	49.1	491	77.6
23年3月期第3四半期	117,073	△0.4	361	△54.3	652	△39.4	276	△49.8

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 493百万円 (181.1%) 23年3月期第3四半期 175百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	21.32	—
23年3月期第3四半期	12.00	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	46,811	16,608	35.5
23年3月期	33,971	16,253	47.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 16,608百万円 23年3月期 16,253百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.00	—	4.00	6.00
24年3月期	—	2.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,500	△0.1	440	—	800	118.1	450	54.5	19.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	23,121,000 株	23年3月期	23,121,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	65,462 株	23年3月期	65,276 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	23,055,645 株	23年3月期3Q	23,055,935 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間のわが国経済は、東日本大震災からの復興に向けた動きから、景気は緩やかに持ち直している一方で、欧州諸国の金融不安や長期化する円高などの影響から、依然として不透明な状況が続きました。

当社グループでは今期からスタートした新中期経営計画「Cキューブ-2013」に基づき、当社のユニークな強みである「生鮮基軸のフルライン事業」を更に推進すべく、調達力および商品力を高めることで店頭提案力を強化し、またフードサービス事業の強化に注力いたしました。一方、物流ネットワークの再構築による機能強化を進め、コスト削減と顧客への目細やかな物流サービスを両立させる事業構造改革を進めています。

この結果、売上高は1,186億98百万円（前年同期比1.4%増加）と前年同期に対して16億24百万円の増収となりました。

利益については、食品全般の小売価格は、東日本大震災直後の需給が引き締まった状態から再び低迷基調に戻り、利益率の低下が余儀なくされましたが、管理費のコスト削減が奏功し、営業利益6億48百万円（前年同期比79.5%増加）、経常利益9億72百万円（前年同期比49.1%増加）、四半期純利益4億91百万円（前年同期比77.6%増加）といずれも増益となりました。

#### 【セグメント別の概況】

※各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高を除いて記載しております。

#### <水産事業セグメント>

売上高 817億円（前年同期比1.0%増）  
営業利益 2億43百万円（前年同期は50百万円の営業損失）

売上高は、年間最大の商戦である12月商戦において、ブリ、マグロなどの年末商材に対する需要が堅調であったことに加えて、フードサービス事業が引続き伸長したことから、前年同期に対して7億99百万円の増収となりました。

利益については、世界的な水産資源問題、国内では放射能汚染による漁獲制限などにより、一般的に供給量は低位に推移したため、仕入価格の上昇が継続したものの、売上高の増加とコスト削減が奏功し、営業利益は前年同期に対して2億94百万円の増加となりました。

#### <一般食品事業セグメント>

売上高 203億72百万円（前年同期比0.6%増）  
営業利益 1億18百万円（前年同期比23.5%増）

売上高は、地域密着の強みを活かしたリテールサポート機能やメーカーとの連携強化による提案営業を更に進め、前年同期に対して1億18百万円の増収となりました。

利益については、売上総利益が減少したものの、物流システムを活用した業務改善によるコスト削減を進めたことから、営業利益は前年同期に対して22百万円の増益となりました。

#### <畜産事業セグメント>

売上高 163億64百万円（前年同期比4.7%増）  
営業利益 2億26百万円（前年同期比6.8%減）

売上高は、牛肉が引続き消費低迷を余儀なくされたものの、豚肉や加工品に対する需要が堅調に推移したことから、セグメント全体では前年同期に対して7億36百万円の増収となりました。

利益については、第3四半期以降、豚肉・鶏肉の相場が軟調となり、物量の増加に伴うコストを賄いきれず、営業利益は前年同期に対して16百万円の減益となりました。

#### <その他（物流事業、小売店支援事業、冷蔵庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業）>

売上高 2億60百万円（前年同期比10.2%減）  
営業利益 58百万円（前年同期比18.3%減）

冷蔵庫事業における保管料収入および、代理店事業の収益減少により、営業利益は前年同期に対して13百万円の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は468億11百万円となり、前連結会計年度末と比較して128億40百万円の増加となりました。主な要因として、流動資産は「現金及び預金」が25億45百万円、「受取手形及び売掛金」が90億94百万円、「商品及び製品」が11億69百万円増加したことにより、132億32百万円増加し、310億32百万円となりました。また、固定資産は「投資有価証券」が2億18百万円減少したことにより、3億92百万円減少し、157億79百万円となりました。

負債は302億3百万円となり、前連結会計年度末と比較して124億85百万円の増加となりました。主な要因として、流動負債は「支払手形及び買掛金」が116億41百万円、「未払法人税等」が2億91百万円増加したことにより、124億49百万円増加し、283億43百万円となりました。また、固定負債は36百万円増加し、18億59百万円となりました。

純資産は166億8百万円となり、これは主に前連結会計年度末と比較して、利益剰余金が3億53百万円増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の47.8%から35.5%に減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日に発表しました業績予想に変更はありません。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,049	5,595
受取手形及び売掛金	10,726	19,820
商品及び製品	2,333	3,502
仕掛品	9	6
原材料及び貯蔵品	78	71
その他	1,744	2,284
貸倒引当金	△142	△249
流動資産合計	17,799	31,032
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,198	3,983
土地	7,604	7,709
その他（純額）	592	608
有形固定資産合計	12,395	12,302
無形固定資産		
のれん	404	349
その他	252	270
無形固定資産合計	656	620
投資その他の資産		
投資有価証券	2,200	1,981
その他	1,008	969
貸倒引当金	△89	△93
投資その他の資産合計	3,119	2,857
固定資産合計	16,171	15,779
資産合計	33,971	46,811
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,340	23,981
短期借入金	1,500	1,500
1年内返済予定の長期借入金	44	—
未払法人税等	15	306
賞与引当金	377	211
その他	1,617	2,344
流動負債合計	15,894	28,343
固定負債		
長期借入金	200	200
退職給付引当金	647	651
役員退職慰労引当金	203	222

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
債務保証損失引当金	102	102
資産除去債務	79	80
その他	589	602
固定負債合計	1,823	1,859
負債合計	17,717	30,203
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,719	3,719
資本剰余金	3,380	3,380
利益剰余金	9,239	9,592
自己株式	△52	△53
株主資本合計	16,286	16,639
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△32	△30
その他の包括利益累計額合計	△32	△30
純資産合計	16,253	16,608
負債純資産合計	33,971	46,811

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	117,073	118,698
売上原価	104,626	106,760
売上総利益	12,447	11,937
販売費及び一般管理費	12,086	11,289
営業利益	361	648
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	66	73
受取賃貸料	122	128
その他	129	141
営業外収益合計	320	344
営業外費用		
支払利息	22	15
その他	6	4
営業外費用合計	28	19
経常利益	652	972
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1	—
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
投資有価証券売却損	1	47
投資有価証券評価損	36	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	44	—
その他	4	2
特別損失合計	87	49
税金等調整前四半期純利益	567	923
法人税、住民税及び事業税	261	370
法人税等調整額	29	61
法人税等合計	290	432
少数株主損益調整前四半期純利益	276	491
四半期純利益	276	491



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	276	491
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△101	1
その他の包括利益合計	△101	1
四半期包括利益	175	493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	175	493
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	80,900	20,254	15,628	116,782	290	117,073	—	117,073
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	1	—	1	1,562	1,563	△1,563	—
計	80,900	20,256	15,628	116,784	1,852	118,637	△1,563	117,073
セグメント利益 又は損失 (△)	△50	96	243	289	71	361	—	361

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業、小売店支援事業、冷蔵庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失 (△) の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	81,700	20,372	16,364	118,437	260	118,698	—	118,698
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	1	—	1	2,179	2,181	△2,181	—
計	81,700	20,374	16,364	118,439	2,440	120,879	△2,181	118,698
セグメント利益	243	118	226	589	58	648	—	648

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業、小売店支援事業、冷蔵庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。